

縄文時代のことをもっと楽しく学ぼう！

史跡勝坂遺跡公園（南区磯部 1780） F-9

わが国を代表する縄文時代中期（約 5,000 年前）の集落跡です。大自然の中の縄文時代を体感できる公園として整備されました。園内には復元住居や敷石住居のレプリカ展示などがあります。

<アクセス>

JR 相模線下溝駅下車「下溝」バス停から「相武台前」行きで「上磯部入口」バス停下車徒歩 5 分※下溝駅からは徒歩 20 分

<お問い合わせ>

相模原市教育委員会文化財保護課 042-769-8371



史跡川尻石器時代遺跡（緑区谷ヶ原二丁目 788-2） C-6

縄文時代中期（約 5,000 年前）から晩期（約 3,000 年前）にかけて、長期に営まれた大集落跡です。史跡内には、昭和 5 年に発掘された敷石住居跡の露出展示があります。

<アクセス>

JR 横浜線・京王線橋本駅下車「橋本駅北口」バス停から「三ヶ木」行きで「久保沢」バス停下車徒歩 5 分

<お問い合わせ>

相模原市教育委員会文化財保護課 042-769-8371



旧石器ハテナ館・史跡田名向原遺跡公園（中央区田名塩田 3-23-11） E-8

旧石器時代（約 20,000 年前）の住居状遺構が発見された遺跡です。公園として整備され、縄文時代の竪穴住居などが復元されています。隣接するガイダンス施設「旧石器ハテナ館」では、展示や体験教室などが行われ、遺跡について楽しく学ぶことができます。



<休館日>

12月29日から1月4日

<アクセス>

JR 相模線当麻駅下車「当麻駅」バス停から「田名バスターミナル」行きで「田名向原遺跡」バス停下車すぐ

<お問い合わせ>

旧石器ハテナ館 042-777-6371

体験教室

10月4日(月)～11月7日(日)

イベントは終了しました。

※事前申込制

相模原市の図書館

豊富な蔵書から考古学や遺跡、郷土の歴史について学習することができます。

相模原市立図書館（中央区鹿沼台 2-13-1） D-9

<アクセス>

JR 横浜線淵野辺駅下車徒歩 3 分

<お問い合わせ>

042-754-3604



相模大野図書館（南区相模大野 4-4-1） E-10

<アクセス>

小田急線相模大野駅下車徒歩 8 分

<お問い合わせ>

042-749-2244



橋本図書館（緑区橋本 3-28-1[ミウイ橋本 6 階]） C-8

<アクセス>

JR 横浜線・相模線、京王線橋本駅下車すぐ

<お問い合わせ>

042-770-6600



展示・特設コーナー 10月1日(金)～11月10日(水)

市立図書館 2階展示スペース
遺跡・考古関連図書紹介コーナー／考古展「縄文の世界」

相模大野図書館 3階展示スペース
遺跡・考古関連図書紹介コーナー／考古ミニ展「縄文のアクセサリ」

橋本図書館 録音図書コーナー内
遺跡・考古関連図書紹介コーナー／考古ミニ展「縄文 × 土偶 世界に誇る相模原の考古資料」

<全館共通休館日>

月曜日及び1月・4月を除く毎月第2木曜日(ただし、その日が休日の場合は開館し、翌日が休館)・12月29日から1月4日 その他各館の蔵書点検期間は休館です。

<アクセス>

JR 横浜線淵野辺駅下車徒歩 20 分・「淵野辺駅南口」バス停から「青葉循環博物館回り・共和回り」で「市立博物館前」下車すぐ

<お問い合わせ>

042-750-8030

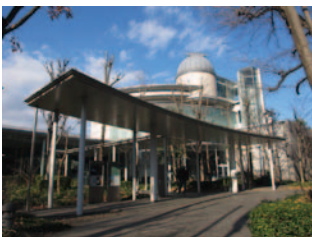
展示

「川尻石器時代遺跡史跡指定 90 周年記念ミニ展示」
会場：博物館エントランス

イベントは終了しました。

相模原市立博物館（中央区高根 3-1-15） D-9

相模原市の自然・歴史と宇宙について学べる総合博物館です。常設展示室では、縄文時代最古級の土器や石器、装飾性に優れた勝坂式土器、表情豊かな土偶など、縄文時代の生き生きとした生活が感じられる様々な出土品を展示しています。



<休館日>

月曜日・国民の祝日の翌日（月曜日が国民の祝日の場合は、翌平日が休館になります。）・12月28日から1月3日 ※令和3年8月の休館日は30日(月)のみ

展示

「川尻石器時代遺跡史跡指定 90 周年記念ミニ展示」
会場：博物館エントランス

イベントは終了しました。

文化財 × 博物館 × 図書館 × 旧石器ハテナ館連携事業

世界遺産じゃないけど相模原にもある縄文遺跡群

相模原市立博物館
SAGAMIHARA CITY MUSEUM

さがみはら

じょうもん

縄文遺跡



石槍（勝坂遺跡）

土偶裝飾付土器（大目野原遺跡）

土偶（橋本遺跡）

上中丸遺跡



博物館キャラクター「おびのっち」
表紙の土偶裝飾付土器から生まれたキャラクター

ユネスコ世界遺産委員会により「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録され、「縄文」が人類共通の遺産として世界の注目を集めています。世界遺産ではありませんが、ここ相模原市も縄文遺跡の宝庫です。北海道・北東北の世界遺産登録を祝して、本市の生涯学習施設では「縄文」を題材に展示や関連図書コーナーの特設などの連携事業を行っています。

この機会に、縄文の世界、考古学の世界を学んでみませんか。

<編集・発行 相模原市立博物館 2021.8.1>



さがみはら 縄文遺跡マップ

大日野原遺跡 B-3

山間の沢井川沿いで発見された縄文時代中期から後期にかけての集落。土偶裝飾付土器や人体文付土器など、縄文土器の優品が出土している。



人体文付土器

史跡寸沢嵐石器時代遺跡 C-5

縄文時代後期の敷石住居が発見され、国の史跡として指定された。指定地の周辺からは中期の集落跡も発見されている。



保存されている敷石住居

青山開戸遺跡 D-5

縄文時代中期と晩期の集落。市内の晩期集落は本遺跡と川尻石器時代遺跡のみで非常に少ない。晩期に特徴的な裝飾豊かな土製耳飾りが出している。



晩期の住居跡



土製耳飾り

青根馬渡No.4遺跡 E-2

道志川の山間に残された遺跡。縄文時代後期の敷石住居に加えて、縄文時代初頭の草創期に位置づけられる土器や石器が発見された貴重な遺跡。



敷石住居



草創期の土器と石棒

縄文時代とは？

今から約16,000年前から約2,400年前の間、日本列島内で、主に狩りや採集によって食べ物を得て、縄文土器と呼ばれる裝飾豊かな土器を作っていた時代。相模原の縄文人たちは、
「たてあな 竪穴住居しきいし や敷石住居と呼ばれる住まいを作り、川の近くのムラで暮らしていました。」

16,000	10,000	2,400	(年)
旧石器時代	草創期	早期	前期
		中期	後期
		晩期	弥生
			古墳
			奈良
			平安
			中世
			近世
			現代

縄文時代の年代と時期区分



0 5km



相模原市立博物館に
寺原遺跡の土器を展示
しているよ！

写真提供等
神奈川県教育委員会提供写真 はじめ沢下遺跡・川尻中村遺跡・新戸遺跡・青山開戸遺跡・青根馬渡No.4遺跡の遺構写真と原東遺跡の土鈴、青山開戸遺跡の「フクロウ」把手、青山開戸遺跡の土製耳飾り
神奈川県教育委員会蔵資料のうち館蔵撮影 川尻中村遺跡の土偶、原東遺跡の大珠、新戸遺跡の石棒、大地開戸遺跡の深鉢形土器、当麻遺跡の両耳壺

嵯峨遺跡 B-4

相模湖インターチェンジの施設内から発見された縄文時代中期の集落。竪穴住居12軒と敷石住居1軒が見つかった。



敷石住居

はじめ沢下遺跡 C-6

縄文時代後期の敷石住居が群となって発見されている。また、住居の近くに墓の可能性のある列状の配石群が見つかった点が目される。



敷石住居



列状に並ぶ配石群

相原遺跡群 C-7

相原小学校北側の境川最上流域で発見された縄文時代中期を中心とする集落跡。祭祀具と考えられる十字型の異形石器などが見つかった。



竪穴住居



異形石器

史跡川尻石器時代遺跡 C-6

縄文時代中期から晩期にかけて長期にわたる拠点集落。後期から晩期の窪地を中央にして形成される集落の姿が明らかとなり注目される。



後期の配石墓



晩期の竪穴住居

橋本遺跡 C-7

縄文時代中期の環状集落。中央広場からは墓と考えられる多数の土坑が見つかった。また、土偶が多く出土していることが特徴。



竪穴住居群



土偶

山王平遺跡 D-9

大野北中学校北東の境川沿いで発見された縄文時代中期の環状集落。対岸の町田市忠生遺跡で発見された縄文集落との関係が注目される。



中期の土器

下森鹿島遺跡 E-10

縄文時代中期の集落。境川を挟んだ対岸には町田駅がある。土偶や土鈴のほかめずらしい鳥形把手が出土している。



土鈴



鳥形把手

小倉原西遺跡 C-6

圏央道相模原インターチェンジの北側で発見された。縄文時代中期～後期の集落のほか、早期～前期の狩猟地が見つかった。



狩猟に使われた落とし穴

史跡川尻石器時代遺跡 C-6

縄文時代中期から晩期にかけて長期にわたる拠点集落。後期から晩期の窪地を中央にして形成される集落の姿が明らかとなり注目される。



後期の配石墓



晩期の竪穴住居

川尻中村遺跡 C-6

新小倉橋の建設に伴い調査された縄文時代中期の環状集落。竪穴住居群と中央広場の間に環状列石が巡る。鉢巻を巻いた土偶も見つかった。



環状列石



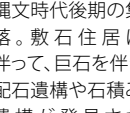
鉢巻土偶

原東遺跡 C-6

川尻中村遺跡の対岸に位置する縄文時代中期の集落。大形の玉である大理石製の「大珠」や土鈴など特殊な遺物が出土している。



大珠



土鈴

古清水遺跡 D-7

縄文時代後期の集落。敷石住居に伴って、巨石を伴う配石遺構や石積み遺構が発見された。自然石を用いた大規模な土木遺構として注目される。



巨石を伴う配石遺構

遺跡は川の近くから発見されていることがわかるね。
今から約5,000年前の縄文時代中期の遺跡が多いみたい。



旧石器ハテナ館に行くと
クルミ形土器と真脇式土器
が見られるよ



田名塩田遺跡群 E-8

縄文時代中期の集落を中心とする遺跡。集落からクルミ形土器が出土しているほか、北陸地方との関係がうかがえる前期の真脇式土器が出土している。



クルミ形土器



真脇式土器

下溝遺跡群 E-8

鳩川、姥川沿いに展開した複数の集落から成る縄文時代中期の大規模遺跡群。200軒以上の住居跡が見つかり、集落の研究上重要な遺跡。



竪穴住居群



中期の土器

当麻遺跡 E-8

国道129号の建設に伴い発掘された縄文時代中期の大規模な環状集落。多量に出土した土器によって、中期の土器研究が進んだ。



竪穴住居群



両耳壺

下溝鳩川遺跡 E-8

鳩川と姥川の合流地点で発見された縄文時代後期の集落。敷石住居を含む9軒の住居と、墓地の跡が見つかった。



敷石住居



墓地の跡

下溝上谷開戸遺跡 E-8

鳩川沿いで発見された縄文時代前期の集落。5軒の竪穴住居が見つかった。市内で形成された最初の本格的集落。



前期の竪穴住居



前期の土器

史跡勝坂遺跡 F-9

縄文時代中期の集落。大正15年に最初の発掘調査が行われ、出土した土器の一部は、のちに「勝坂式」と呼ばれる土器分類の基準となった。



勝坂式土器

新戸遺跡 E-9

旧新磯高校内で発見された縄文時代中期から後期にかけての集落。9軒の敷石住居や、石棒などがみつかった。



敷石住居



石棒